



Tokachi Area

浦陸足本豊池幕大更中芽清新鹿上士音帯
幌別寄別頃田別尾樹別室内水得追幌幌更広

秀逸な道「樹海に佇む天空の道」
一般国道273号 松見大橋での橋梁点検

令和 6 年度

管内 事業概要 十勝

共に北海道の未来を創る
第9期北海道総合開発計画

あしたを創る 北の知恵
北海道開発局



帯広開発建設部

〒080-8585 帯広市西5条南8丁目
帯広第2地方合同庁舎



X 帯広開発建設部
公式X(旧 Twitter)
@mlit_hkd_ob
https://twitter.com/mlit_hkd_ob




<https://www.hkd.mlit.go.jp/ob/>



畑地かんがいと日高山脈



農業生産性を向上する用水路整備



十勝川と札内川の合流点

十勝は、北海道らしい雄大な景観が多く、観光客を呼び、地元で収穫される安全・安心・美味しさを誇る農水産物は約1,200%の食料自給率に達し、資源豊富な地域です。また、観光のポテンシャルも高く、ますます国内外の需要は高まっています。これまでに先人が培ってきた資源を活かし、また持続的に発展させるためには、北海道の価値を生み出す「生産空間」を維持し、市街地や観光の場、輸送拠点を効果的に結びつけた十勝圏域全体を見渡した社会資本整備が必要です。

令和6年度は、第9期北海道総合開発計画(以下「新計画」とします。)がスタートします。新計画は、国際情勢等を踏まえた食料安全保障、新型コロナウイルス感染症、2050年のカーボンニュートラル実現といった近年の大きな危機や変化を踏まえ、北海道開発を「絶対推進すべきこと」がら」としています。さらに、国の課題解決を図り、将来像を実現すべく、計画の目標を示し、主要施策として、「我が国の豊かな暮らしを支える北海道～食料安全保障、観光立国、ゼロカーボン北海道」、「北海道の価値を生み出す北海道型地域構造～生産空間の維持・発展と強靱な国土づくり」を掲げています。

帯広開発建設部は、新計画に掲げる目標に向けて、十勝のポテンシャルを最大限発揮すべく、農林業の競争力・付加価値の向上、管内の交通・物流ネットワークの強化を図り、近年激甚化・頻発化する自然災害、切迫する日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震の発生などに備え、治水・道路・農業基盤における防災・減災、国土強靱化の推進により災害に強い地域づくりの構築を、関係者と連携を図り、所管する業務を着実に進めて参ります。

また、新計画では、分野を越えて多様な主体と新しい価値を生み出す取組として「共創」を掲げており、官民の垣根を越えて、地域の課題解決や価値向上を推進します。

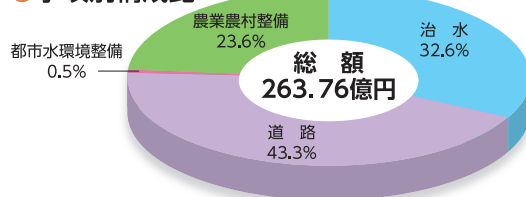


帯広開発建設部事業費総括表

事 項	事 業 費
治 水	8,602百万円
道 路	11,433百万円
都市水環境整備	128百万円
農 業 農 村 整 備	6,213百万円
計	263.76億円

※1. 農業農村整備を除き、工事諸費は含まれていない。
※2. 四捨五入の関係で計と内訳が一致しない場合がある。

事項別構成比



※四捨五入の関係で計と内訳が一致しない場合がある。

職員派遣による支援

TEC-FORCE (Technical Emergency Control Force)

テックフォースとは「緊急災害対策派遣隊」のことです。

近年激甚化する大規模な自然災害に際して、被災状況の把握や被災地の早期復旧のための技術的支援など、被災した地方自治体等の災害復旧を支援します。

令和6年能登半島地震では、北海道開発局から北陸地方整備局管内へTEC-FORCEを派遣するなど、国土交通省が一丸となって被災地域の1日も早い復旧活動を支援しています。



被災状況調査(石川県輪島市)

リエゾン (Liaison)

リエゾンとは「現地情報連絡員」のことです。

大規模な災害が発生した場合、又は発生のおそれがある場合に地方自治体等に職員を派遣し、(1)災害情報や開発局への支援要望等の情報収集、(2)災害情報の提供、(3)災害対策用機械など、支援資機材等に関する連絡調整を行います。

帯広開発建設部では、平成28年8月の大雨災害時に、管内の9自治体に延べ70名の職員を派遣しました。



リエゾン活動状況(定寄町)

災害対策用機械による支援

災害時の緊急対応や情報通信手段の確保のための各種災害対策用機械を配備し、災害時には速やかに出動します。これらの災害対策用機械は地方自治体等の要請に基づき貸与することが可能です。

令和4年8月15日～16日にかけて前線と低気圧の通過により大雨となった際には、帯広市及び豊頃町に排水ポンプ車及び照明車が出動し、緊急排水支援を行いました。

このほか、地域の防災意識の向上を目的として、防災訓練や防災教育の場で災害対策用機械と災害時の支援活動について説明を行っています。



排水ポンプ車による排水支援(帯広市)



帯広工業高校での災害対策用機械を用いた防災教育(写真左から照明車、対策本部車、衛星通信車)

事業の概要

十勝川は、その源を大雪山系の十勝岳に発し、山間峡谷を流れ、十勝平野に入り、広大な畑作地帯を流下しながら、人口・資産が集積し、流域最大の市街地である帯広市に入ります。その後、急勾配である音更川及び札内川、利別川等を合わせ、低平地に広がる畑作地帯を流下し、豊頃町において太平洋に注ぐ、幹線流路延長156km(全国17位)、流域面積9,010km²(全国6位)の一級河川です。

十勝川流域は、大雪山国立公園をはじめとして、針葉樹林や針広混合林、湿原群落等の植物相が形成され、河川は、サケの遡上やシシャモの産卵といった魚類の繁殖の場となっています。

十勝川水系では、「北海道の価値を生み出す北海道型地域構造～生産空間の維持・発展と強靱な国土づくり」の目標のもと、流域で暮らす人々の安全・安心を確保するとともに、農林水産業・観光等を担う「生産空間」を支えるため、多様な動植物が生息・生育する自然との調和を図りつつ、以下の各事業を推進します。また、気候変動の影響により激甚化・頻発化する災害に対応するため、あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」の推進、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を重点的、かつ集中的に対策を講じ、強靱な国土づくりに取り組みます。

十勝川水系流域治水プロジェクト

気候変動による水災害リスクの増大に備えるため、河川・下水道管理者等が行う治水対策に加え、あらゆる関係者が協働し、流域全体で水害を軽減させる「流域治水」を更に加速化・深化させるためにとりまとめた「十勝川水系流域治水プロジェクト2.0」に基づき、ハード・ソフト一体の事前防災対策を推進していきます。



河道掘削土を活用した一時避難場所の造成(豊頃町)

河川事業

十勝川流域では、令和5年3月に変更した「十勝川水系河川整備計画」に基づき、洪水を安全に流下させることができるよう、堤防等の整備や河道の掘削、堤防強化対策、侵食対策などの治水対策を計画的に進めています。また、堤防や樋門などの河川管理施設の機能を維持するため、堤防除草や水閘門施設の点検・補修などの維持管理を行うとともに、防災インフラ管理の効率化・高度化と予防保全(老朽化対策)を行っていきます。

砂防事業・大規模土砂災害への取組

戸鶯別川では、洪水時における土砂流出による災害を未然に防止するため、土砂流出の抑制・調節を図る砂防堰堤、流木止め、及び床固工群の整備を行っており、今年度も整備を推進します。

大規模土砂災害への取組として、河道閉塞や雌阿寒岳、十勝岳の火山噴火に起因する土砂災害への危機管理対策や、地域への災害情報の周知、避難支援に関する対応の充実を図ります。

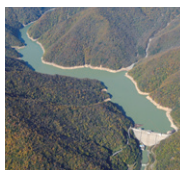
ダム事業

十勝川上流の十勝ダムは、洪水調節と発電を目的として、昭和59年に完成した多目的ダムです。また、札内川上流の札内川ダムは、洪水調節と水道・農業用水の供給及び発電等を目的として、平成10年に完成した多目的ダムです。

治水・利水機能を確保するためのダム管理に必要な施設の点検整備、観測・操作、流木処理などを行い、管理の充実を図ります。また、札内川ダムでは、放流能力増強等について、調査・検討を行います。糠平ダム再生事業では、既存ストックを最大限活用する計画の検討を行います。



十勝ダム



札内川ダム

◆十勝ダムの施設概要

高	さ	84.3m
長	さ	443m
体	積	3,715,000m ³
総貯水容量		112,000,000m ³
貯水面積		4.2km ²
ダムの集水面積		592km ²
ダム形式		中央コア型ロックフィルダム

◆札内川ダムの施設概要

高	さ	114m
長	さ	300m
体	積	770,000m ³
総貯水容量		54,000,000m ³
貯水面積		1.7km ²
ダムの集水面積		117.7km ²
ダム形式		重力式コンクリートダム

◆令和6年度 治水事業の概要

事業別	地区別等	事務所等	事業の概要
河川整備事業	河川改修	十勝川中上流、音更川、札内川等 十勝川下流、利別川等	帯広河川事務所 池田河川事務所
	河川維持修繕	十勝川水系	帯広河川事務所 池田河川事務所
	河川工作物関連 応急対策	十勝川水系	池田河川事務所
	堰堤維持	十勝ダム 札内川ダム	帯広河川事務所 十勝ダム管理支所 帯広河川事務所 札内川ダム管理支所
	堰堤改良	札内川ダム	帯広河川事務所
河川総合 開発事業	糠平ダム 再生事業	音更川	糠平ダム調査事業所
砂防事業	砂防事業	札内川、 戸鶯別川	帯広河川事務所



侵食対策(音更川)



戸鶯別川第4号砂防堰堤(建設中)

十勝川流域では、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出するなど豊かな自然環境が有する多様な機能を活用したグリーンインフラの取組を行っています。

十勝川水系では、土地利用の変化等様々な要因により、生物の生息場(湿地環境、水際環境、礫河原等)が減少し、生物多様性の損失など生態系へ影響を及ぼすとともに、河川利用者の減少を招き、河川利用文化が衰退するおそれがあります。このため、治水対策と適切に組み合わせる生物の生息場の保全・創出などの取組により、失われた河川環境を再生しつつ、多様性と連続性を基調とした良好な河川環境の回復を図ります。また、十勝川流域では、良好なまちと水辺が融合した空間形成の推進を目的に、「かわまちづくり支援制度」を活用し、観光客等の利便性向上や地域の観光の促進を図り、地域活性化を目指します。

◆令和6年度 都市水環境整備事業の概要

事業区分等	地区別等	事務所等	事業の概要
総合水系 環境整備事業	十勝川水系	帯広河川事務所、池田河川事務所	自然再生 帯広市ほか流域市町村
	帯広地区	帯広河川事務所	水辺整備(かわまち) 帯広市
	十勝川中流地区	帯広河川事務所、池田河川事務所	水辺整備(かわまち) 音更町、池田町、幕別町



取組事例)十勝川下流付近 湿地環境の保全



取組事例)十勝川中流付近 水際環境の創出

事業の概要

帯広開発建設部では、十勝管内における高規格道路や国道8路線の整備・維持・管理を行っています。

北海道総合開発計画等を踏まえ、「北海道の価値を生み出す生産空間の維持・発展と多様で豊かな地域社会の形成」「観光立国を先導する世界トップクラスの観光地域づくり」「安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくり」等を推進するとともに、国内の食料供給基地として重要な役割を担うほか、北海道らしい雄大な風景を誇る十勝地域において、「食」や「観光」に関連する分野での成長と競争力を一層強化し、地域社会に活力をもたらす「生産空間」「基礎圏域」の保持・形成を図るための基盤整備、施策を推進します。

世界を見据えた人流・物流ネットワークの形成

●広域分散型社会を支える高規格道路ネットワークの整備

広域分散型社会を形成している北海道において、食・観光等の基幹産業を支えるとともに、国土の強靱性を確保し、地域間の連携強化を図るため、高規格道路ネットワークの整備を推進します。

多様で豊かな地域社会の形成

●「生産空間」の維持・発展に資する「道の駅」の機能強化

地方部の「生産空間」を支える都市機能・生活機能の維持・確保を図るため、日常的な生活サービス機能を「道の駅」に集約するなど、地域の拠点づくりを支援するとともに、「道の駅」の交通結節点化など、地域の拠点化に向けた多様な取組を推進していきます。

観光立国を先導する世界トップクラスの観光地域づくり

●「シーニックバイウェイ北海道」の推進

魅力ある道路景観を地域の重要な観光資源の一つとして確立するため、特に魅力的な区間について景観の維持・形成、情報発信を重点的に推進するシーニックバイウェイ「秀逸な道」の取組を引き続き推進し、地域との協働を通じて生産空間のコミュニティ維持を推進します。

●サイクルツーリズムの推進「トカプチ400」

世界水準のサイクルツーリズム環境の実現に向けて、安全で快適な自転車走行環境の改善やサイクリストの受入環境の充実、情報発信の取組を推進します。
(令和3年5月に日本を代表するナショナルサイクルルートに「トカプチ400」が指定)

生活空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくり

●災害から迅速な復旧を支える道路交通ネットワークの耐災害性強化

「防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム」等に基づき、防災震災対策や高規格道路のミッシングリンク解消を推進します。

●交通安全対策の推進

事故危険区間での事故データを用いた分析やビッグデータを活用した潜在的危険区間の分析により、事故の危険性が高い区間を抽出して重点的な対策を実施する「事故ゼロプラン」を推進するとともに、自転車事故の危険性が高い区間については、自転車走行空間整備を計画的に推進します。また、通学路においては、令和3年6月に千葉県八街市で発生した事故を受けて実施した通学路合同点検の結果に基づき、安全対策を実施します。

●防災、歩行空間の確保、景観の向上に資する無電柱化の推進

道路の防災性の向上、安全で快適な歩行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興の観点から実施している電柱の新設抑制及び無電柱化についてスピードアップを図ります。

●社会経済活動を支える道路施設の老朽化対策

道路施設が有する機能を長期にわたって適切に確保するため、各施設に応じた点検及び計画的・効率的な維持管理を図り、最適な老朽化対策を推進します。また、ドローン等新技術の活用による点検の高度化・効率化により戦略的なインフラ老朽化対策を推進します。

●冬期交通の確保

冬期の安全・安心を確保するため、冬期災害に備え、代替性確保のための高規格道路の整備、国道における防雪対策、近年多発する大雪・暴風雪時の情報発信の強化等を図ります。



ドローンによる橋梁点検（国道236号 木屋の沢橋）



北海道横断自動車道（足寄～北見）の整備



「トカプチ400」(ナショナルサイクルルート)の走行環境整備



国道241号 音更大通(交通安全対策・無電柱化)

◆令和6年度 道路事業の概要

●広域分散型社会を支える高規格道路ネットワークの整備	
路線・地区名	主要事業
E61 北海道横断自動車道網走線	足寄～北見
E60 帯広・広尾自動車道（国道236号）	大樹広尾道路（忠類大樹～豊似） 大樹広尾道路（豊似～広尾）
●道路施設の老朽化対策	
国道38号	鎮橋架替
国道38号ほか	橋梁補修、トンネル補修ほか
●防災対策・震災対策	
国道236号	野塚防災
国道236号ほか	橋梁耐震補強
●交通安全対策	
国道38号	東10条10丁目交差点改良 西7条北1丁目交差点改良
国道236号	更別路肩改良
国道241号	士幌路肩改良 (令和6年度新規事業化) 音更大通6丁目交差点改良 (電線共同溝含む)
国道274号	瓜幕路肩改良
●冬期交通の確保	
国道274号	笹川防雪対策

国土交通省北海道開発局帯広開発建設部道路情報
@hkd_mkt_roadinfo

【国道274号日輪峠 通行止め解除予定のお知らせ】
大雪の影響により、1月26日13時から通行止めを行っていましたが、
1月26日15時に通行止め解除を予定しています。新設歩道の際にはチェー
ン係数をお知らせします。
ご理解とご協力いただきありがとうございます。#いのちとくらしをまも
る防災減災
サイトを観る

SNSを通じた道路情報提供

道路の異常を
発見したら…
24時間
受付中
道路緊急
ダイヤル
#9910
(全国共通番号)

●通行止め区間の路線名、場所、日時、原因などをお知らせします。
●通行止めの実施時刻と解除時刻にメールを配信します。

通行止情報メール配信サービス
<https://info-eoad.hkd.mlit.go.jp/RoadInfo/mail.html>



農業農村整備事業

Tokachi 2024

事業の概要

十勝管内では、明治16年の民間開拓移民団の入植以降、近代技術の導入や排水改良等の基盤整備が計画的に進められ、現在では、約24万haという広大な土地資源(耕地)を活かした大規模な畑作・酪農経営が展開されています。

一方で近年は、経営規模の拡大に伴う労働力不足や降雨形態の変化に伴う湛水被害、干ばつ被害に加え、土地改良施設の老朽化といった緊急性の高い課題への適切な対応が求められています。これらの課題に向き合いながら農業農村整備事業を着実に進めることで、本地域農業の振興を図っていきます。

国営かんがい排水事業

農地に水を導いてその土地を潤す「かんがい」や農地にある余分な水を排除する「排水」を行う事業です。

この事業により農業用施設の新設や改修を行うことで、湛水被害や干ばつ被害を未然に防ぐとともに、質のよい食料の安定生産を可能にします。

●芽室川西地区

地区概要：小麦・てんさい・ばれいしょ・豆類等の畑作物を主体に、ながいも・スイートコーン等の野菜類を組み合わせた農業経営が展開されています。

事業内容：農業用水の安定供給と施設の維持管理の軽減を図るため、美生ダム(芽室町)の管理施設の改修や用水路の新設を行います。

●新川二期地区

地区概要：小麦・豆類・てんさい等の畑作物を主体に、キャベツ・にんじん等の野菜類を組み合わせた農業経営が展開されています。

事業内容：排水機能の安定的な確保と施設の維持管理の軽減を図るため、老朽化している上統内排水機場及び排水路の改修を行います。

●新更別地区

地区概要：小麦・てんさい・ばれいしょ・いんげん・小豆・スイートコーン等を組み合わせた農業経営のほか、飼料作物を栽培して乳用牛を飼養する酪農経営が展開されています。

事業内容：農地の湛水被害の解消により農業生産性の向上及び農業経営の安定を図るため、排水路の整備を行います。

●十勝川左岸二期地区

地区概要：小麦・てんさい・スイートコーン等を組み合わせた農業経営のほか、飼料作物を栽培して乳用牛を飼養する酪農経営が展開されています。

事業内容：農業用水の安定供給、施設の維持管理費の軽減、湛水被害の解消を図るため、貯水池、用水路及び排水路の整備を行います。

●笹川地区

地区概要：小麦・てんさい・ばれいしょ・小豆・キャベツ等を組み合わせた農業経営のほか、飼料作物を栽培して乳用牛を飼養する酪農経営が展開されています。

事業内容：農地の湛水被害の解消により農業生産性の向上及び農業経営の安定を図るため、排水路の整備を行います。

●清川二期地区

地区概要：小麦・ばれいしょ・てんさい・大豆・小豆・スイートコーン・ながいも・たまねぎ等を組み合わせた農業経営のほか、飼料作物を栽培して乳用牛を飼養する酪農経営が展開されています。

事業内容：農地の湛水被害の解消により、農業生産性の向上及び農業経営の安定を図るため、排水路の整備を行います。



用水管路の布設状況
(芽室川西地区 帯広市)



整備が待たれる排水機場
(新川二期地区 幕別町)



整備前の湛水被害状況
(笹川地区 鹿追町)

調査計画地区

●札内川流域地区

地区内では、近年の営農の変化に伴い水需要が変化するとともに、用水施設が未整備な一部区域では農業用水を降雨に依存し、農業生産性が低く営農上の支障となっています。また、既存の用水施設は経年的な劣化等により施設の維持管理に多大な費用を要しています。

このため、水需要の変化に対応した用水再編による新たな用水確保及び老朽化した用水施設の整備を行う事業の実施に向けた調査計画を進めます。

◆令和6年度 農業農村整備事業の概要

1 実施地区

事業種別	地区名	事務所等	関係市町村名	受益面積	事業の概要
国営 かんがい排水	芽室川西	帯広農業事務所	帯広市、芽室町	20,623ha	ダム(改修) 1箇所 用水路 27条
	新川二期	帯広農業事務所	豊頃町、幕別町	1,625ha	排水機場 1箇所 排水路 3条
	新更別	帯広農業事務所	更別村	2,050ha	排水路(改修) 1条 排水路(新設) 4条
	十勝川左岸二期	鹿追地域農業開発事業所	音更町、清水町、芽室町	6,560ha	ダム(改修) 1箇所 用水路 2条 排水路 2条
	笹川	鹿追地域農業開発事業所	鹿追町	611ha	排水路(新設) 1条
	清川二期	帯広農業事務所	帯広市	2,650ha	排水路 5条

2 調査計画地区

事業種別	地区名	事務所等	関係市町村名	受益面積	事業の概要
国営 かんがい排水	札内川流域	農業計画課	帯広市、中札内村、更別村、幕別町	29,446ha	頭首工 1箇所 用水路 32条



管内の概況

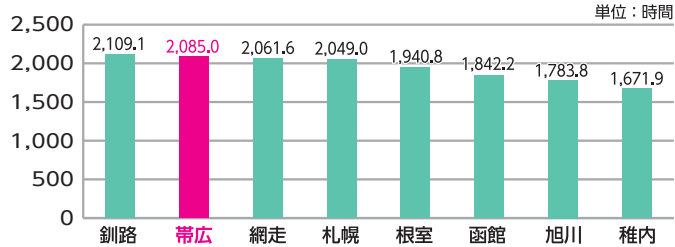
Tokachi 2024

位置・気候

十勝管内は、北海道の東南部北緯42°09′～43°38′、東経142°40′～144°02′に位置し、北に大雪山系、西に日高山脈が連なる太平洋側に拓けた広大な農業地帯です。中央部を貫流する十勝川は、大雪山系十勝岳を源として太平洋に注いでいます。

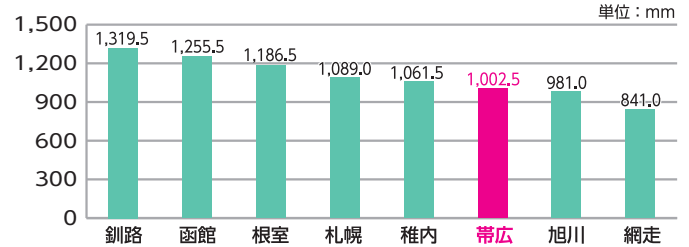
十勝地方の気候は、太平洋岸を除き大陸性気候で、帯広市の年間の平均気温は8.2℃です。降水量は約1,002mmと道内主要都市の中でも少なく、日照時間は年間約2,085時間と恵まれており全国的にも晴天率の高い地域です。

◆日照時間<道内主要都市の年間日照時間>(令和3年)



※出典:「第130回(令和5年)北海道統計書」(北海道総合政策部)

◆降水量<道内主要都市の年間降水量>(令和3年)



単位: mm

面積・土地利用

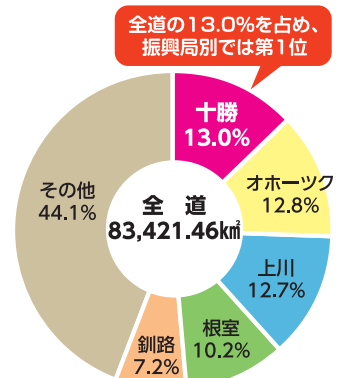
十勝管内は、1市16町2村で構成され、総面積は10,831.62km²と全道の約13%を占めており、振興局ごとの面積では第1位となります。土地の利用面積は、山林が4,580km²(42.3%)と最も広く、次に畑の2,416km²(22.3%)、牧場の284km²(2.6%)と続き、田は21km²(0.2%)とわずかです。

◆地目別面積(令和3年)

	田	畑	宅地	鉱泉地	池沼	山林	牧場	原野	雑種地	その他
全道	2,387.35	8,993.70	1,245.49	0.02	212.11	37,943.89	1,564.32	4,134.01	1,372.86	16,791.42
	3.2%	11.9%	1.6%	0.0%	0.3%	50.2%	2.1%	5.5%	1.8%	22.2%
十勝	20.56	2,415.96	150.55	0.00	18.41	4,580.23	284.08	284.15	201.20	2,876.36
	0.2%	22.3%	1.4%	0.0%	0.2%	42.3%	2.6%	2.6%	1.9%	26.6%

畑の面積だけで「東京都」よりも広い

※出典:「第130回(令和5年)北海道統計書」(北海道総合政策部)



全道の13.0%を占め、振興局別では第1位

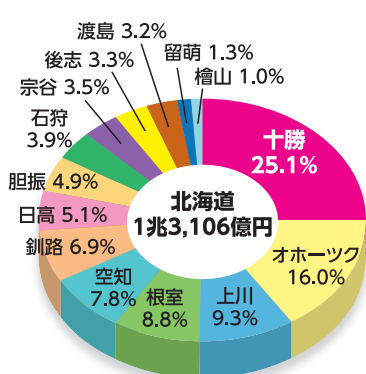
※出典:「令和5年全国都道府県市区町村別面積調」(国土交通省国土地理院)

産業

●農業

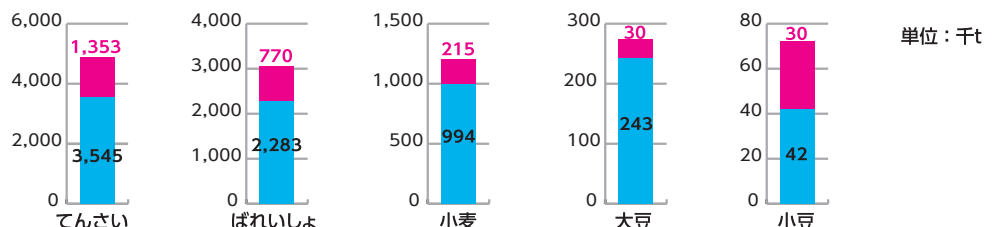
全国 8兆7,831億円
北海道 1兆3,106億円(全国の14.9%)
十勝 3,291億円(全道の25.1%)

◆令和3年 農業産出額の道内シェア(推計)



◆十勝で収穫される主な作物(収穫量)の全国シェア

※農林水産省「作物統計(令和4年度産)」
小豆は、北海道農政事務所「北海道農林水産統計(令和3年度産)」及び十勝総合振興局調べ(令和3年度産)



単位: 千t

十勝農業は、経営耕地総面積約23万haという広大な土地を背景に、我が国における代表的な畑作酪農地帯を形成し、食料供給基地として国民の期待を担っており、かつ、十勝の基幹産業となっています。

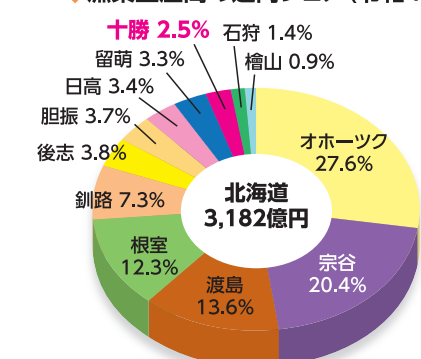
十勝農業の全道に占めるシェアは、販売農家数15.0%、耕地面積22.7%となっています。また、一戸当たりの耕地面積は47.1ha(全道平均27.4ha)、主業農業経営体率は86.7%(全道平均71.7%)と大規模かつ主業率の高い農業地帯となっています。

令和3年の農業産出額は、3,291億円となっています。

※2020年農林業センサス(農林水産省)、令和3年市町村別農業産出額(推計)(農林水産省)

●水産業

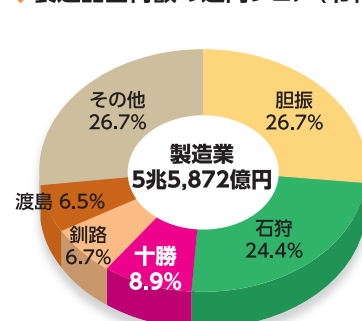
◆漁業生産高の道内シェア(令和4年)



※出典:「令和4年 北海道水産現勢」(北海道水産林務部)

●工業

◆製造品出荷額の道内シェア(令和2年)



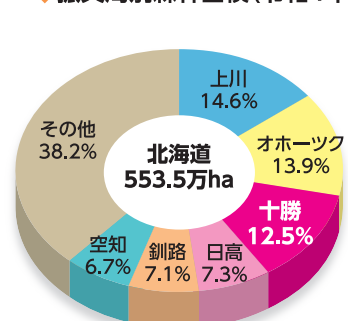
※出典:「令和3年経済センサス」(経済産業省)

※従業者4人以上の事業所

※公表されていない製造品もある。

●林業

◆振興局別森林面積(令和4年)



※出典:「令和4年度 北海道林業統計」(北海道水産林務部)

管内市町村の概要

Tokachi 2024



十勝<とかち> 1市16町2村

面積/10,831.62km²
人口/328,861人

■地名の由来
「」内はアイヌ語

- 1 帯広市**
Obihiro City
●面積 /619.34km² ●人口 /164,014人
十勝圏の中核都市として豊かな自然環境と快適な都市機能が調和する田園都市。また、食と農林漁業を柱とした地域産業政策「フード・ブルーとかち」を十勝全体で推進している。令和2年に日本で初めて大学構内に酒蔵「碧雲蔵」が開設。世界で唯一のばんえい競馬開催やお菓子のまちとしても有名。平成20年に環境モデル都市に認定され、低炭素社会の構築に向けた取組を行っている。
■地名の由来 /「オベレベレケ」(川尻がいくつにも裂けているところの意)から転訛。
■観光名所 / ばんえい競馬、幸福馬、愛国駅、紫竹ガーデン、八千代公共育成牧場、岩内仙峡、緑ヶ丘公園、北の屋台・十勝乃長屋、真鍋庭園、おびる動物園など。
- 2 音更町**
Otofuke Town
●面積 /466.02km² ●人口 /43,268人
日本有数の生産量を誇る小麦や豆類などを育む肥沃な土地と、美しい自然に恵まれた緑豊かなまち。北海道遺産に選定されたモル(植物性)温泉で知られる十勝川温泉などがある。道の駅おとふけ なつぞらのふる里が道東道首更帯広IC付近に移転オープン。全道町村で最も人口が多い町。
■地名の由来 /「オトブケ」(毛髪が生ずるの意)から転訛。
■観光名所 / 道の駅おとふけ なつぞらのふる里、道の駅ガーデンスパ十勝川温泉、十勝川温泉、花時計ハナック(十勝が丘公園)、十勝が丘展望台、十勝牧場展望台、白樺並木、十勝エコロジーパークなど。
- 3 士幌町**
Shihoro Town
●面積 /259.19km² ●人口 /5,883人
畑作、酪農、畜産などが盛んで、面積の約60%が農用地という全国有数の農業のまち。特にじゃがいもの加工施設は国内有数で、生産者還元用の限定商品であるポテトチップスが有名。高校生と地元企業が共同で地場産品を使った商品開発を行い、道の駅の人気商品になっている。また、地元高校では様々な農産物の認証取得を目指しており、生徒が農業生産や地域活動において活躍している。
■地名の由来 /「シウウウォロー」(広大な土地の意)から転訛。
■観光名所 / 道の駅ビュア21しほろ、道の駅しほろ温泉、水芭蕉園(士幌高原ヌプカの里)、美濃の家・伝統農業保存伝承館、朝陽公園ホテルの里、士幌鉄道記念公園(士幌交通公園)など。
- 4 上士幌町**
Kamishihoro Town
●面積 /694.23km² ●人口 /4,890人
大雪国立公園内の糠平湖を取り囲む森林と山岳美、日本一広い公共牧場であるナイタイ高原牧場に加え、熱気球の町としても有名。旧国鉄士幌線のタウシュベツ川橋梁は北海道遺産であり季節によって姿を変える幻の橋として人気。移住定住を推進し、ふるさと納税を活用した子育て支援に取り組んでいる。また、バイオガス発電によるエネルギーの地産地消がSDGs表彰を受けているほか、令和4年4月に脱炭素先行地域に選定された。自動運転バスやドローン配達など、ICTを活用したまちづくりを推進している。
■地名の由来 / 士幌村から分村の際、士幌川の土流に位置することから名付けられた。
■観光名所 / 道の駅かみしほろ、ぬかびら源泉郷、糠平湖、三国峠、ナイタイ高原牧場、ひがし大雪自然館、旧国鉄士幌線コンクリートアーチ橋梁群など。
- 5 鹿追町**
Shikao Town
●面積 /402.88km² ●人口 /5,144人
道内で最も標高が高く幻想的な然別湖を有し、とかち鹿追ジオパークは他に見られない凍れ(しばれ)という特徴を持つ、国内最大規模となる2か所の資源循環型バイオガスプラントが町の事業として稼働している。余剰熱を活用してマンゴー栽培、チョウザメ養殖事業などを行っており、令和4年4月に脱炭素先行地域に選定された。また、バイオガスから水素を生成し車両に充てる道内で初めての固定式のステーションがあり、町内で水素燃料車が利用されている。
■地名の由来 /「クテウシ」(鹿捕り棚、あるものの意)の和訳から。
■観光名所 / 道の駅しかおい、道の駅うらま、神田日勝記念美術館、然別湖、東雲湖、鹿追町ライディングパーク、とかち鹿追ジオパーク、福原山荘など。
- 6 新得町**
Shintoku Town
●面積 /1,063.83km² ●人口 /5,581人
農業、林業を主産業とするまち。町立女性専用農業体験実習施設レディースファームスクールがある。特産品のそばは全国的に有名で、新得町最大のお祭り「しんとく新そば祭り」には全国から2万5千人もの観光客が訪れる。十勝高原を中心に、乗馬、スキー、ラフティング等を楽しめるリゾート地でもある。手話の理解を広めるため、町内で全全国の手話に関する基本条例を施行した。
■地名の由来 /「シントク」(附、山の出る部分の意)から転訛。
■観光名所 / トムラウシ温泉、狩勝峠、旧狩勝線跡、くつたり温泉、ベア・マウンテン(サホロリゾート)、そばロードなど。
- 7 清水町**
Shimizu Town
●面積 /402.25km² ●人口 /9,047人
日勝峠の東側に位置するまちで、日勝峠展望台などの眺めの良い場所が多く存在する。地元産のブランド牛と地元産鶏卵を使用したご当地グルメ、十勝牛ステーキ丼が有名で、「新・ご当地グルメグランプリ北海道」では大会3連覇を達成し殿堂入り。また、6次産業化にも力を入れており、有機肥料で育てた地元産にんにくを使用し、町内で加工した黒にんにくが有名。
■地名の由来 /「ベケベツ」(明るく清らかな川の意)の和訳から。
■観光名所 / 日勝峠展望台、美夢パノラマパーク、清水山展望台、十勝千年の森、清水公園など。
- 8 芽室町**
Memuro Town
●面積 /513.76km² ●人口 /18,029人
スイートコーンの作付面積・生産量ともに日本一のまちで、十勝芽室コーン炒飯がご当地グルメとして有名。近年落花生の生産も盛んで、落花生の産地地を名目している。ゲートボール発祥の地。また、芽室サイクルツーリズムでは地元ガイドと共に巡る散策が行われている。農産物などの豊富な地場資源を活用した食品製造業を中心に発展しており、工業団地の造成・企業の誘致などを通じ、活性化を図っている。
■地名の由来 /「メム・オロ・ベツ」(泉のわくところの川の意)から転訛。
■観光名所 / 新嵐山スカイパーク展望台、花島蒲園(芽室公園)、ふるさと歴史館ねんりん、めむろのりーむ、メムロスキー場、13線防風林など。
- 9 中札内村**
Nakasatsunai Village
●面積 /292.58km² ●人口 /3,902人
日高山脈中央部を源とする清流、札内川流域に広がる花と緑とアートの村。グランピング施設やリゾート休暇村スタイルの長期滞在型コテージが整備され、美しい農村景観と美術館などの見どころや、枝豆や卵などの農畜産物を求め、多くの観光客が訪れている。[日本で最も美しい村]連合に加盟している。
■地名の由来 /「サチナイ」(乾いた川)の意から札内川の中流に位置するで「中」を冠した。
■観光名所 / 道の駅なかさつない、ピョウタンの滝(札内川園地)、一本山展望タワー、六花の森、六花亭アートヴィレッジ中札内美術村、豆資料館(ビーズ工房)、花畑牧場など。
- 10 更別村**
Sarabetsu Village
●面積 /176.90km² ●人口 /3,158人
農家1戸当たりの経営面積、トラクター所有台数が国内最大級。道内初のキャリア5Gの基地局が整備された村で、スマート農業先進地。村内にあるどんぐり公園内のすももの里には約3haの広大な敷地に1,000本を超えるすももの木が植えられている。農畜産物とすももの加工品が人気。
■地名の由来 /「サラ・ベツ」(葎・茅の生い茂る地の意)に更別の漢字を当てたもの。
■観光名所 / 道の駅ささらべつ、十勝スピードウェイ、どんぐり公園、ささらべつカントリーパーク、更別農村公園など。
- 11 大樹町**
Taiki Town
●面積 /815.67km² ●人口 /5,439人
「北海道に、宇宙版シリコンバレーをつくる」という目標を掲げるまち。町内のロケット射場から、民間企業単独で開発・製造したロケットが打ち上げられている。今後は更なるスペースポートの整備が予定されている。過去何度も日本一の清流に選ばれている歴厩川では、砂金掘り体験やカヌー下りを楽しめる。
■地名の由来 /「タイキウシ」(大木が群生するところの意)から転訛。
■観光名所 / 道の駅コスモール大樹、宇宙交流センターSORA、晩成温泉、カムイコタン公園キャンプ場、坂下仙境、十勝ホロカヤンター窓穴群など。

- 12 広尾町**
Hiroo Town
●面積 /596.48km² ●人口 /6,229人
十勝の海の玄関である重要港湾十勝港とともに発展してきた。サンタクロースの故郷ノルウェーが認めた国外初、日本で唯一のサンタランド。国道336号沿いには、道路脇を直接流れ落ちるフンベの滝がある。ししゃもやカニをはじめとする豊富な海産物と農産物が楽しめるまち。フンベ海岸は、サーファー間で人気の日本屈指のサーフスポット。
■地名の由来 /「ピルイ」(びろが転がる、ルイは礫石がとれる地の意)から転訛。
■観光名所 / ひろおサンタランド(大丸山森林公園)、日高山脈標定公園、十勝神社、シーサイドパーク広尾、フンベの滝、黄金道路など。
- 13 幕別町**
Makubetsu Town
●面積 /477.64km² ●人口 /25,897人
パークゴルフ発祥の地。ナウマン象の化石骨が発掘された地としても知られている。町内各地の小高い丘にはシーニックカフェやうら、明野ヶ丘公園展望台タワー、丸山展望台等が整備され十勝平野の雄大な景色を見ることが出来る。また、多くのオリンピック選手を生んでいるオリンピックのまちとしてスポーツを通じて交流するまちづくりを進めている。
■地名の由来 /「マクウンベツ」(山脈を流れる川・後川の意)から転訛。
■観光名所 / 道の駅忠類、ピラリ(明野ヶ丘公園)、十勝ヒルズ、フロンティア通り、忠類ナウマン象記念館、魚道観察室とろーど、幕別町ふるさと館、忠類白銀台スキー場など。
- 14 池田町**
Ikeda Town
●面積 /371.79km² ●人口 /6,159人
全国初の自治体ワイン「十勝ワイン」を製造し、ワインツーリズムの先駆けとなってきた池田ワイン城が有名で、「池田町ワイン祭り」には毎年町内外から多くの来場者が訪れる。また、地域独自のワイン用ブドウ「山幸」が国際品種に登録された。町内で肥育から加工処理までが行われる「いけだ牛」が人気。
■地名の由来 / 池田侯爵によって本格的な開墾が始まったことによる。
■観光名所 / ワイン城、千代田環境、DCT garden KEDA、十勝まきばの家、清見ヶ丘公園、池田町郷土資料館など。
- 15 豊頃町**
Toyokoro Town
●面積 /536.71km² ●人口 /2,977人
十勝川の最下流に位置する十勝発祥の地。樹齢約150年のはるにれがまちのシンボルで、1月中旬から2月下旬に大津海岸で見られるジュエリーアイスは近年人気が高い。二宮尊純(二宮尊徳)の孫を開拓の祖とし、道内で唯一全国報徳研究市町村協議会に加盟しており、全国の参加市町村と連携しながら、報徳のおしえを継承し互恵互生事業を行っている。
■地名の由来 /「トエコロ」(大きなフキのあるところの意)から転訛など諸説あり。
■観光名所 / はるにれの木、茂岩山自然公園、湧洞湖、長節湖、とよこ物産直売所、ジュエリーアイズ(大津海岸)など。
- 16 本別町**
Honbetsu Town
●面積 /391.91km² ●人口 /6,375人
本別生まれの中生食黒大豆を使った加工品のブランド「クレイマメ」を全国へ発信する豆のまち。毎年9月には本別町最大のイベント「本別きらめきタウンフェスティバル」が、1月下旬には節分をテーマに2トンの豆が撒かれる「はんぺん豆まかナイト」が開催されている。市街地近くには高速道路のIC、JCTがあり、道東の交通の要衝となっている。
■地名の由来 /「ボン・ベツ」(小さな川)の意から転訛。
■観光名所 / 道の駅ステラ★はんぺん、義経の里 本別公園、幽仙峡、本別町歴史民俗資料館、神居山展望台など。
- 17 足寄町**
Ashoro Town
●面積 /1,408.04km² ●人口 /6,350人
林業と農業を主産業とする、放牧酪農推進のまち。町村では日本一広い面積を有し、町内に自生する、栄養豊富な川の水によって高さ2~3mになる巨大なヤシ「ラワンびき」は北海道遺産に登録されている。道の駅あしよる銀河ホール21は平成29年度に国土交通省からモデル「道の駅」(地域交通拠点部門)に認定され、地域の公共交通の拠点として活用されている。町民や観光客から採取した星が町内歩道に敷設されている。
■地名の由来 /「エショロ・ベツ」(沿って下る川の意)から転訛。
■観光名所 / 道の駅あしよる銀河ホール21、阿寒摩周国立公園オンネト、オンネト湯の滝、足寄動物化石博物館、白藤の滝、雌阿寒温泉、芽室温泉、錦沼、里見が丘公園など。
- 18 陸別町**
Rikubetsu Town
●面積 /608.90km² ●人口 /2,217人
酪農と林業が基幹産業で、夏と冬の寒暖の差が70度にもなる日本一寒い「しばれ」のまち。72歳で徳島から入植した関寛吉を開拓の祖として讃える。寒さを体感するイベント「しばれフェスティバル」は全国的にも有名。星空にやさしい街10選に認定されており、日本最大級の公開型望遠鏡を備えた銀河の森天文台からは、オーロラが観測できることでも有名。リクベツ鉄道の運転体験が人気で、国内最長コースには全国から鉄道ファンや家族連れなどが多く訪れている。
■地名の由来 /「リクベツ」(高く上がついていく川、危ない高い川の意)から転訛。
■観光名所 / 道の駅オーロラタウン93りくべつ、ふるさと銀河線りくべつ鉄道、銀河の森天文台、関寛斎資料館など。
- 19 浦幌町**
Urahoro Town
●面積 /729.85km² ●人口 /4,302人
十勝最東端に位置し、町の面積の約74%を森林が占めている林業と畜産のまち。海岸線には自然の花畑である豊原生花園や広大な太平洋を見下ろせる昆布刈石展望台などもあり、自然豊かなまち。うらほろ留置温泉はアルカリ性の高い泉質を持ち、良質な温泉として評判。また、子どもの教育や町の活性化に官民一体となって取り組む「うらほろスタイル」が注目されている。
■地名の由来 /「オーラボロ」(川尻に大きな葉が生育するところの意)から転訛。
■観光名所 / 道の駅うらほろ、うらほろ森林公園、うらほろ留置温泉、昆布刈石展望台、豊原生花園、Uralaa park urahoro、十勝コッパ遺跡など。

※面積：令和5年全国都府県市区町村別面積調(令和5年10月1日現在)(国土地理院)
※人口：住民基本台帳人口(令和5年1月1日現在)(北海道総合政策部地域行政局町村課)

本部

〒080-8585 帯広市西5条南8丁目 帯広第2地方合同庁舎

総務課 ☎0155-24-2901	情報公開、職員管理
経理課 ☎0155-24-2902	予算経理、出納、 国有財産・物品の管理・処分
契約課 ☎0155-24-2903	入札・契約
地域連携課 ☎0155-24-3195	第9期北海道総合開発計画 の推進
技術管理課 技術検査官 工事品質管理官 ☎0155-24-2904	環境・建設副産物、 品質確保、技術管理
用地課 特定用地対策官 ☎0155-24-2905	事業用地の取得
公物管理課 ☎0155-24-4102	公共用財産の管理
施設整備課 ☎0155-24-4103	機械・電気・通信設備の 整備・管理、営繕事務
防災課 ☎0155-24-3194	防災業務
治水課 流域治水対策官 特定治水事業対策官 ☎0155-24-4105	十勝川水系の 河川整備・維持
道路計画課 特定道路事業対策官 ☎0155-24-4106	国道整備・保全の計画
道路整備保全課 道路防災推進官 ☎0155-24-4104	国道整備・保全の実施
農業計画課 ☎0155-24-3192	農業農村整備の計画
農業整備課 ☎0155-24-3191	農業農村整備の実施
広報官 ☎0155-24-3193	広報、意見・要望窓口
道路設計管理官 ☎0155-24-1542	国道整備・保全の設計
道路施工保全官 ☎0155-25-1250(帯広道路) ☎01558-2-3148(広尾道路) ☎0156-25-2601(足寄道路)	国道整備・保全の実施
土地改良情報対策官 ☎0155-24-3192	[わが村は美し〜北海道]運動他

部長

次長

調査官

技術管理官

事務所

●帯広河川事務所 〒089-0536 中川郡幕別町札内西町73番地6 ☎0155-25-1294	十勝川、札内川、音更川等の整備、 維持及び管理 十勝ダム、札内川ダムの維持管理 及び当該ダムに係る河川管理	●所長 副所長 ┌ 総務課 ├ 調査課 ├ 計画課 ├ 工務課 └ 副所長 ┌ 十勝ダム管理支所 └ 札内川ダム管理支所
●十勝ダム管理支所 〒081-0154 上川郡新得町字屈足トムラウシ ☎0156-65-3121		
●札内川ダム管理支所 〒089-1374 河西郡中札内村南札内735番地2 ☎0155-69-4666		
●池田河川事務所 〒083-0032 中川郡池田町字利別東町 ☎015-572-2661	十勝川、利別川、猿別川等の 整備、維持及び管理	●所長 副所長 ┌ 総務課 ├ 計画課 └ 工務課
●帯広道路事務所 〒089-0536 中川郡幕別町札内西町73番地6 ☎0155-25-1250	一般国道38・236(帯広・広尾自動車道)・ 241・274号の整備、維持修繕及び その他の管理	●所長 副所長 ┌ 総務課 ├ 第1工務課 └ 第2工務課
●広尾道路事務所 〒089-2624 広尾郡広尾町並木通東2丁目5番地 ☎01558-2-3148	一般国道236・336号の整備、 維持修繕及びその他の管理	●所長 ┌ 総務課 └ 工務課
●足寄道路事務所 〒089-3718 足寄郡足寄町栄町1丁目43番地 ☎0156-25-2601	一般国道241・242・273・274号・ 北海道横断自動車道(足寄〜陸別)の 整備、維持修繕及びその他管理	●所長 ┌ 総務課 └ 工務課
●帯広農業事務所 〒080-8585 帯広市西5条南8丁目 帯広第2地方合同庁舎 ☎0155-24-3196	芽室川西地区、新川二期地区、新更別 地区及び清川二期地区の農業農村整 備事業に係る工事	●所長 副所長 ┌ 総務課 ├ 第1工事課 ├ 第2工事課 └ 第3工事課
●糠平ダム調査事業所 〒089-0536 中川郡幕別町札内西町73番地6 (帯広河川事務所内) ☎0155-25-1294	糠平ダムの治水機能増強に係る 検討調査	●所長 調査設計班長
●鹿追地域農業開発事業所 〒081-0212 河東郡鹿追町泉町1丁目 ☎0156-66-2101	十勝川左岸二期地区及び 笹川地区の農業農村整備 事業に係る工事	●所長 副所長

事業所

電話番号は帯広開発建設部HPで確認いただけます

<https://www.hkd.mlit.go.jp/ob/index.html>

トップページ下の **ダイヤルイン案内** をクリック

